

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 令和7年3月31日 ※レポート提出締め切り日

2、開催場所 今回は各委員の都合がつかないため、レポートにて意見をいただいた。

3、委員の出席

・委員総数 …… 8名

・レポート提出の氏名…本間美香委員長、瀬戸明委員、堀越巖委員、田辺とも子委員、
諸橋美香委員、市島清貴委員、遠藤愛子委員

・レポート未着の氏名…齋藤和也委員

4、議題

(1)「燕三条系さとしでんぱ in 加茂」(3月1日 9:00～10:40放送)

本間委員長

公開録音なので、会場の笑い声も聞こえ臨場感がありました。

遠藤麻理さんや藤田加茂市長のトークは、お酒にまつわることの印象が強く、その後の歌謡曲の話をもっと掘り下げてもよかったかなと感じました。

少し内輪トークが多い印象で、知っている方は面白かったと思いますが、初めての方には壁を感じたかなと思いました。

タブレット純さんのトークは、お人柄も伝わってくる内容で興味深く聞けました。さとしさん、遠藤麻理さんがうまく引き出しているなど感じました。

全体的に軽快なトークで、その場にいるような感覚で楽しく聞くことができました。

瀬戸委員

オープニングの声、変更してはどうでしょうか。

「県央応援コンサート・カモンエブリバディ」のチケット販売、興味をひくような出演者の紹介だけでなく、披露される曲の一部でも紹介されたらよかったのではないのでしょうか。チケット代だけにこだわったのは考え方ですが、安っぽいように感じました。

会場来場者で加茂の方がすくないことを拍手で確認し、加茂のリスナーを増やしたいとのさとしさんの話がありましたが、その一言で終わってしまい、残念でした。加茂市にはご承知のように大学・短期大学、また高等学校が3校あり、また5つの幼稚園・保育園がり、「今度訪問させてください」等の話ができればよかったのにと感じています。

放送局開局に係わる話がありましたが、開局27年目という話と局の場所と1曲目の曲だけでなく、きちんと開局目的などの話をすることが大事なことだと思いますし、昔、加茂も大水害があり、7.13水害の対応について話ができれば、コミュニティーFM 放送の必要性を感じてもらえたのではないかと思います。

放送受信について「FM プラプラ」のアプリで聴ける点について説明した点は評価できるものと思います。

遠藤麻理さんの紹介では、酒の話をするのなら、あとで藤田明美加茂市長が少しだけふれましたが、加茂市には3つの酒蔵(加茂錦酒造、雪椿酒造、萬寿鏡)があるので、それぞれの酒蔵の商品

を含め、トークの中に取り入れることが大切なことかと思います。そうすれば、さとちゃんが、遠藤麻理さんが加茂市について勉強しているという理解にもなるのではないかと思います。

次の紹介となった藤田明美市長の個性に触れる点(酒と歌)は、少しは評価できましたが、ふるさと納税が増え、新年度事業の目玉事業についても話してもらえればよかったものと思います。

酒の話から加茂に泊まってという話が出ましたが、湯田上温泉の話があってもよかったのではないかと思います。

タブレット純さんについて紹介がありよかったです。紹介がなければ、私はわかりませんでした。

タブレット純さんの自伝「ムクの祈り」について話がありました。この点もよかったと思います。

遠藤さんとタブレット純さんの年代について話題となり、特捜最前線の挿入曲「私だけの十字架」をタブレット純さんがものまねをされよかったと思います。

結論、市外の来場者と加茂市のリスナーを増やしたいと思っているのなら、「商店街が・・・」ではなく、もっとトークの中に藤田明美市長が雪椿まつりや加茂川のこいのぼりの話を少しだけしましたが、もっと行事や文化、習慣、特徴などにふれ、アプローチすること。

次に、先ほど放送局開設に係わる目的や成果について話すことが大事なことだと思いましたし、人口の割に学校が多いので、下準備をされるよう検討していただけたら幸いです。

余談。番組審議とは異なりますが、燕三条エフエムのHPに加茂市のHPのリンクが貼られていなかったのも追加すべきかと思いました。

市島委員

(前半)さとちゃんはいつも通時も切れ味の良いトークでよかった。アシスタントとしてのお菊の方言トークは絶妙だ。年を追うごとに上達してきて、もう立派な「方言おばちゃん」の地位を確立している。方言をしゃべるだけでなく、さとちゃんのツッコミをうまく切り返している。

藤田市長は、音楽の趣味などのプライベートなことをオープンに話してくれて興味深かった。遠藤麻理さんはベテランタレントの仲間入りをしているほど人気や知名度があるのだから、リスナーとしてはもっと最近の活躍の話(BSNや新潟日報寄稿の仕事など)を聞きたかった。

(後半)タブレット純は、何者なのかわからないものにとって、しばらく話の内容が理解できず、聞きづらかった。カーラジオならすぐに消していただろう。テレビと違って、ラジオ放送なので歌やものまね芸などはよく伝わらなかった。かなり個性的なタレントさんなのであろうから、遠藤さんが経歴や当日のいでたちなどがわかるように紹介してほしい。彼らだけがわかりあっている話も多く、多くのリスナーは置いてきぼりを食ったのではないかな。

ウェブサイトを見ると、かなり面白そうなタレントだとわかったので、もっと引き出してほしい。

田辺委員

番組スタートですぐ会場を盛り上げる、さとちゃんのリードはさすがと思いました。どうという内容ではないけれど、息の合った遠藤麻理さんとの掛け合いも楽しかったです。

良いころ合いで、開局1回目に流れた「もしもピアノが弾けたなら」にホッとしました。名曲といわれる楽曲が記念すべき1回目の放送であったことは、放送局の強みであり、宝であると感じました。

熱烈リスナーの「パー子さん」の登場と、いじりはよいアクセントでした。中盤以降、気持ちを投入して聞くのは疲れました。各自の好きな曲を言い合うくだりが長く、曲紹介がもっと早ければと思いました。

加茂市を盛り上げるべく、折々に工夫が見られました。

後半、ゲストのタブレット純さんの個性がそのまま聞こえ感激しました。スターの力でしょうか。

タブレット純さんのリクエスト、ロス・プリモスの「新潟ブルース」はよかったです。霊界に半分いるというエピソードも面白かったし、高校生の時、自分の殻をやぶり、自己表現した話は、リスナーとしても共感しました。

遠藤委員

開局27年目おめでとうございます。「『まさか・・・』の時に安心を」。本当の心のこもった番組、本当に気楽に耳にできることありがたいです。

今回の番組、全体の様子はとても楽しく、大笑いで聞きました。加茂市長の出演良かったです。親しみやすい素敵な方に感じました。

さとちんさんの早口部分がよく聞き取れなかったです。リスナーの「パー子」さんの出演に「何？」と思いました。(応援団なんですね)

このコンサートを見に行った方に感想を聞いてきました。

「大変面白く、楽しかったです」「タブレット純さん、とても良い時間を過ごさせてもらいました」「楽しい時間をありがとうございました」「空席が目立ってもったいないと思いました」

諸橋委員

会場の熱気や臨場感が伝わり、自分も会場にいるような錯覚をしてしまうほど距離を感じることなく一緒に楽しめました。それは、パーソナリティのさとちんの力も大きいとは思いますが、たとえば、会場やゲストの様子を「グリーンの T シャツを着た・・・」や「いちご柄が・・・」など、リスナーが想像しやすいよう、またユーモアを交えて表現していらっしゃる、こうした細かな配慮と所謂「毒」、そして自虐のバランスが絶妙でした。

引き続き、固定ファンのみならず、新たなリスナーの獲得につながるような楽しい企画に期待しています。

堀越委員

「加茂市はコミュニティ FM 放送の空白エリア」...前小池市長の方針から自主防災組織の組織率は他市に比べ圧倒的に低い。

「地域の防災・減災を担う燕三条エフエム放送としては、加茂市民に知名度の向上とコミュニティ放送の担う使命の認知の獲得が必須である」

そんな中で加茂駅前施設につづき、2度目の人気レギュラー番組の公開収録を行った。

① 当日はキャパ140名のところ、300名を超えるリスナーが集まった。

レギュラーパーソナリティであるさとちん、お菊さんの人気をベースに、遠藤麻理さん、タブレット純さんのキャスティングが奏功したと考えられる。このことは、加茂市での燕三条エフエムの一定の知名度の向上には寄与したと思われます。

② ただし放送内では、放送内では防災・減災に関する話題はありませんでした。また当日は加茂市民以外の来場者が多いと放送されていました。今後は、加茂市民をリスナーとして惹きつけるため番組内での加茂情報の取り上げなどが必要と考えられます。

(2)その他 次回の番組審議委員会の日程について

次回開催は、5月を予定。

5、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容方法及び年月日

自社放送 令和 7年 4月 7日(月)

書類のエントレンスホールへの備置き 令和 7年 4月 7日(月)

自社 HP 上に記載 令和 7年 4月 8日(火)

6、その他、参考となる事項

特になし。